

想像の翼にのって— vol.14 国境を超えてつながる人々

きゃりーぱみゅぱみゅ、中田ヤスタカといった気鋭のアーティストやモデルを擁し、原宿から世界へ日本のポップカルチャーを発信する、アソビシステムの中川悠介社長。僕の住む原宿の部屋を出て、右へ曲がるとアソビシステム、左へ曲がるとCool Japan TV。どちらも徒歩5分と近く、日常的に行き来して話をする事も多い、中川氏と対談。

赤峰・僕は渋谷の大学に通っていて、学校が終わるといつも原宿に来ていました。当時、その理由を考えたこともなかったのですが、この街から感じるピュアなエネルギー、いろんなスタイルを受け入れてくれる懐の深さが好きだったのだと思います。

中川・大学の頃は一日中、GAP前に座って、入れ替わり立ち替わり来る友達と話をしました。いつの間にかその輪が広がり、一時期はGAP前にいると原宿を歩いている全員が友達かと思うくらいでしたね。この街で人と話すことが好きでした。

赤峰・路上で哲学対話を繰り返していたソクラテスみたいで素敵なエピソードです。今も対話の中で生まれる化学反応を大切にされていることを感じます。今回発表したプロジェクト「NIPPON BON BON(以下NB B)」も、原宿での対話から生まれたものでしたね。

中川・原宿観光案内所を運営して、昨日来たタイ人の投稿により今日お土産が多く売れるといった、SNSによる情報伝達のスピードや

『NIPPON BON BON 対談〈前編〉』

赤峰 俊治 × 中川 悠介 (アソビシステム 代表取締役社長)

文 赤峰 俊治

text by Shunji Akamine

可能性を実感していたので、それを上手く仕組み化できれば、もっと日本の素晴らしさを伝えていけると思っていました。「NB B」では、お互いの強みを合わせて、インバウンド・アウトバンドを促進できると思っています。

赤峰・きゃりーぱみゅぱみゅの出現は時代の分岐点だったと思ってます。それは、SNSを主体とした人気の広がり方、海外で受け入れられたことなど、多くの面でそれ以前と違いがあるからです。

中川・きゃりーは偶発的な始まりでしたが、それを確信的に仕掛けて、孝藤右近による盆踊りで世界中を躍らせることに成功したのが「Tokyo Bon 2020」ですね。

赤峰・中川さんの感性を理論的に分析した結果です。事例の一つですが、日本の水信玄餅が海外で「Raindrop Cake」としてバズっていました。日本には、まだ自分たちも気づいてない魅力がたくさん埋もれていること、グローバルな視点で再定義することに可能性を感じました。

中川・海外ではファッションとしてランドセルが人気で、お洒落スーツのサラリーマンが「ちょうどパソコンが入る」と買っていました。「NB B」では、僕らの経験とノウハウを活かして、2020年とそれ以降を目指して、企業や自治体の海外プロモーションをサポートして、日本を盛り上げていきたいですね。

Profile



赤峰 俊治 Cool Japan TV Group. CEO & Founder
大学卒業後、政府系金融機関の信用保証協会に入社。経営コンサルティングに携わる中で、企業にとって既存の商圏や国境を越えることのできるWEBメディア戦略に可能性を感じて起業。動画を活用した企業や自治体のプロモーションにおいて数々の実績を残す。もっとも面白いチャンネルを投票で決める「USTREAM大賞」を2年連続受賞。中国最大手のEC企業アリババの過去最高売上を記録した「独身の日」のKOLマーケティング、1億視聴数を超える世界的ヒットのミュージックビデオ「Tokyo Bon 2020」などプロデュース。現在、52か国 7,300人の生徒を持つ、動画スクールを運営。世界各国にて講演活動を展開。アジア最大級のYouTuberネットワークとバズの仕掛けを駆使した、国内外の大手企業のプロモーション及びマーケティングを手掛けている。



中川 悠介 (アソビシステム 代表取締役社長) 1981年、東京生まれ。イベント運営を経て、07年にアソビシステムを設立。「青文字系カルチャー」の生みの親であり、原宿を拠点に地域と密着しながら、ファッション・音楽・ライフスタイルといった、原宿の街が生み出す「HARAJUKU CULTURE」を、国内はもとより世界に向けて発信し続けている。自主イベント「HARAJUKU KAWAII!!!」を2011年～全国各地で開催し、近年は、KAWAIIのアイコン・きゃりーぱみゅぱみゅのワールドツアーを成功させた。2014年には新プロジェクト「もしもしっぼん」を発表し、日本のポップカルチャーを世界へ向け発信すると同時に、国内におけるインバウンド施策も精力的に行っている。また、きゃりーのプロデューサーでもある中田ヤスタカと共に未成年でも楽しめるクラブイベントを神社、世界遺産等様々な異色のロケーションで開催するなど、地方創生にも力を入れている。